

脳神経内科

1. 脳神経内科の理念・特色

公立豊岡病院は兵庫県北部・但馬地方という広範囲の地域の医療を担う中核的病院です。その中で脳神経内科を有する病院は2カ所しかないため、この地域の脳卒中をはじめとして、神経難病を含む神経筋疾患患者が集中することとなっております。このため当院脳神経内科は症例数が豊富であることを特徴とします。

現在4人の常勤神経内科医と1人の非常勤神経内科医で、常時60人前後の入院患者および平均55人/日の外来患者の診療を行っている。特に脳梗塞超急性期治療である血栓溶解療法に精力的に取り組んでおり、ドクターヘリを有する当院救急集中治療科と提携して、「1人でも多くの人に」をスローガンに24時間対応できる体制で臨んでいる。

また、脳神経外科と共同で血管内治療を積極的に行っています。

それに加え救急隊をはじめ、関係する医療関係者、住民への啓蒙活動にも取り組んでいる。但馬地方は兵庫県の中でも筋萎縮性側索硬化症や脊髄小脳変性症などの神経難病が多い地域です。

そのため診療のみならず、訪問診療、啓蒙活動など地域と連携した広範な神経内科医療を展開している。

更に、リハビリテーションにも精力的に取り組んでおり、ボトックス療法、ロボットスーツHAL、足こぎ車いすやTENSを導入して神経リハビリテーションを実践している。並んで睡眠時無呼吸症候群の診断治療にも取り組んでいる。

2. 目標・プログラム

ア. 目標

新・内科専門医制度で経験が必要な70疾患群のうち神経内科分野は9疾患群を占めていますが、当院脳神経内科ではほぼ全分野をカバーしている。したがって、専攻医は当科ローテーション期間に概ね必要疾患群症例を経験していただけます。

また、当科では重症患者も多いため、密度の濃い研修ができます。当科での研修を通して、新内科専門医として神経内科診療が行えるレベルに到達していただきたい。

イ. 経験できる診療、技術

- ・ 専攻医は入院患者の主治医となり、指導医の指導のもと病棟業務を行う。また、指導医のもと初診外来を担当する。
- ・ 神経学的症候や病態の意味を正しく理解し、適切な神経学的所見をとることができるように指導する。
- ・ 神経生理、神経放射線、神経超音波をはじめ、各種神経学的検査結果の意味・解釈や治療の内容を理解出来るように指導します。指導医のもと髄液検査、神経伝導速度検査、血管エコー、脳波検査は自ら施行し、適切な判断を下すことが出来るように指導する。
- ・ 入院患者の主治医として、適切な確定診断を行い、治療計画を立案し適切な診療録が作成できるように指導する。
- ・ 神経内科救急をはじめ迅速な対応が必要な症例については、指導医とともに診療を行い、神経救急疾患の診察の仕方、処置の仕方を学び、実践できるように指導する。
- ・ 超急性期脳血管障害については指導医と共に血栓溶解療法を経験する。また、脳神経外科の指導のもと血管内治療(見学)を経験する。
- ・ 理学・作業・言語療法に加え、ロボットスーツやTENなどを用いた神経リハビリテーションを学ぶ。



3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	外来診療 病棟診療	外来診療 病棟診療	外来診療 病棟診療	外来診療 病棟診療 地域医療訪問診療	外来診療 病棟診療	要時対応 (救急入院患者)
午後	外来 病棟 新入院患者症例・ 画像カンファレンス	外来 病棟回診 病棟総回診	外来 病棟回診	外来 病棟回診 神経生理検査 (筋電図、神経伝達 速度検査 など) 抄読会	外来 病棟回診 症例カンファレンス	
時間外			18:00～ 内科合同カンファレンス 17:15～(隔週) リハビリテーション科 との合同カンファレンス			

4. 指導医・スタッフ

部長 まつしま かずし
松島 一士

出身 東海大学 S58

東海大学医学博士 H12

専門	神経疾患一般、脳血管障害、睡眠時無呼吸症候群
認定	日本神経学会専門医・指導医・代議員、日本脳卒中学会専門医・指導医・評議員、日本内科学会認定内科医、日本脳循環代謝学会評議員、日本難病ネットワーク学会評議員

医長 よこて あきよし
横手 明義

出身 神戸大学 H20

専門	神経疾患一般、脳血管障害
認定	日本脳神経外科学会専門医

医長 い が けんいち
伊賀 賢一

出身 近畿大学 H24

専門	神経疾患一般
認定	日本神経学会専門医 日本内科学会認定内科医

医員 みやげ ともあき
三宅 智彬

出身 滋賀医科大学 H26

専門	神経疾患一般
認定	日本内科学会認定内科医

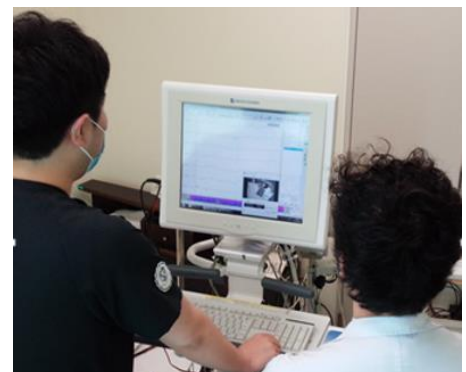
医員 ほりぐち みか
堀口 美香

出身 北海道大学 H26

専門	神経疾患一般
----	--------

5. 診療設備等

- ・ ポータブル脳波計 2 台(長時間持続モニター・ビデオカメラ) 日本光電 EEG-1250
- ・ 筋電計 ネイタス バイキングクエスト 2 台
- ・ 誘発脳波検査器 日本光電 ニューロパック S1
- ・ 頸動脈超音波診断装置 キヤノンメディカルシステムズ Aplio i800
- ・ ポリソムノグラフィー検査装置 フィリップス・レスピロニクス アリス 6LDxS
- ・ 3TMRI 装置 フィリップスジャパン Ingenia3.0



6. 診療実績

1年間の神経内科疾患の統計

初診外来患者数 642 人/年

新規入院患者数 571 人/年

再診外来患者数 12,520 人/年

平均在院日数 30.3 日

疾患名	内訳	患者数
脳血管障害	脳梗塞、脳出血	341 人
神経変性疾患	筋委縮性側索硬化症	11 人
	パーキンソン病	23 人
	他のパーキンソニズム (PSP, CBD など)	1 人
	他系統委縮症 (SDS, OPCA, SND など)	8 人
	脊髄小脳変性症 (多系統委縮症を除く)	2 人
	不随意運動疾患 (舞踏病, 振戦など)	0 人
	その他	0 人
認知症性疾患	アルツハイマー病	1 人
	血管性認知症	1 人
	その他	11 人
免疫関連性中枢神経疾患	(MS, 脊髄炎, ベーチェット病など)	5 人
末梢神経疾患	(GBS, CIDP, CMT など)	6 人
筋疾患	(筋炎, 皮膚筋炎, ジストロフィーなど)	6 人
神経感染症, 脳症	(脳炎, 髄膜炎など)	5 人
てんかん	(原発性, 症候性)	40 人
腫瘍		5 人
中毒性神経疾患		2 人
内科疾患, 代謝性疾患に伴う神経障害		0 人
その他		103 人

7. 学会認定施設

日本神経学会専門医制度准教育施設